

会

派

代

表

質

問



公明党

長田 忠広



4病院の再編

問 県が検討している4病院の再編について見解を伺う。

市長 県南部地域において、医療の拠点として重要な病院であると認識します。県南の周産期医療では、以前はみやぎ県南中核病院の分娩がありましたが、今は中止しています。その結果、岩沼市内の病院に集中していることも現実で、大きな課題となっています。救急医療では、できるだけ医療体制の充実を考慮した上で検討していただきたいと思っています。

問 岩沼市にとってのメリット・デメリットを伺う。

市長 メリットは、二次救急医療、周産期について病院がより近い位置にあれば、さらに充実してくると思います。デメリットは、立地場所では岩沼市内の医療機関と連携が果たしてどうなるかとの不安や岩沼市内の医療機関への影響はどうなるかとの不安があります。

問 これまで県に対して岩沼市の考え方をどのように説明してきたか伺う。

市長 昨年9月に今後の方向性が

公表になった後、岩沼市としては2市2町の広域として要望を出しました。また、県南4市9町で県に要望を出しました。岩沼が抱える（問題）、名取が行おうとしているもの、それぞれを直接知事に伝えてきた経緯があります。

問 今後、本格的に議論がなされるが、岩沼市としてはどのように対応していくか伺う。

震災を風化させない施策

市長 今後、新たな宮城県医療計画が策定されます。その中で、県南地域の拠点病院として明確に位置付けするよう発言する予定です。

問 総合南東北病院やスズキ記念病院と意見交換はしているのか伺う。

市長 4病院の統合の話が出てから、総合南東北病院、そしてスズキ記念病院に足を運んでいろいろ現状をお聞きしています。我々にとって一番の方法を選択して県に要望していこうということ、情報共有をしています。

震災対応

○サポート体制

問 震災から11年が経過した今、被災者の現状把握と対応をどのようにしているか伺う。

社会福祉課長 コミュニティ支援員2人を中心に、玉浦西地区において支援が必要と思われる方へ戸別訪問やサロンの開催を継続し、現状の把握に努めています。対応については、訪問などによって把握したさまざまな問題に寄り添い、関係機関へつなぐなどの支援

を行っていきます。

問 災害ケースマネジメントの対応をどのように考えているか伺う。

健康福祉部長 被災者個々の問題を把握し、生活支援や生活再建等の問題解決を図ろうとするもので、被災者や被災世帯の包括的な支援につながるものと考えます。

問 災害ケースマネジメントの仕組みを平時から構築する必要性があると思うが、見解を伺う。

健康福祉部長 災害ケースマネジメントについては非常に有効であると認識していますので、岩沼市に合った仕組みについて今後研究していきます。

○震災の記憶を風化させない施策
問 岩沼市としてのこれまでの取り組みと今後の方針を伺う。

地方創生推進課長 千年希望の丘交流センターの整備や、岩沼市の復興の歩みをまとめた「震災記録誌」など、さまざまなツールを活用し、震災伝承や防災教育に取り組んでいます。今後も引き続き、千年先まで大震災の教訓と感謝を伝えていくため、伝承に取り組んでいきます。

問 2月には市役所2階市民ホールで震災のパネル展示を行った。今後は岩沼市役所だけではなくて、西部地区のコミュニティセンターなどを巡回してどうか伺う。

総務部長 伝承の在り方については長く続けられる方法はどういうものかも含めて検討してみます。

問 伝承・風化が大きな課題となっている。市長の思いを伺う。

市長 岩沼ならではのアピールの仕方をしていけばいいと思います。いずれにしても、風化させないように少しでもアピールしていきたいと考えます。

◎その他の会派代表質問
・市長の選挙公約
・グリーンピア岩沼

会派所属議員

長田忠広、高梨明美